名取やすし 県議会報告

発行 山梨県議会議員 名取泰
事務所 南アルプス市飯野3680
電話 090−3435−4838

2024年3月
No.3
日本共産党

県議の任期も1年が経ちました。3月21日まで開催されていた県議会2月定例会では、一般質問を行ない、知事の政治資金をめぐる問題などを取り上げました。今回の議会報告ではその内容などを掲載しています。どうぞ、ご覧ください。
物価高騰の暮らしへの影響が続いており、暮らし応援の政策が求められています。これからも住民目線で県政をチェックするとともに、皆さんの声を県政へ届けるためにがんばります。
※皆さんからのご意見をお待ちしております。

山梨県議会 一般質問 ダイジェスト

耐震化支援 対象と予算の拡大を

2月28日に行なわれた山梨県議会2月定例会での一般質問の要旨を紹介します（知事の政治資金問題については中面に掲載）

地震災害に備えた対策について

元日に発生した能登半島地震では多くの住宅が倒壊し、大きな被害となりました。この教訓をいかすことが重要です。
県の住宅耐震化の補助対象は、昭和56年より前の旧耐震基準の住宅に限られています。これを壁の配置バランスや、柱・土台・梁などの接合部の強化が加わった平成12年の法改正より前の住宅まで拡大するように求めました。

予算が目標の1割弱では足りない

また、県は住宅の耐震化率の目標を令和7年度末で95％に設定しています。この目標を達成するには年平均で2640戸の耐震化が必要ですが、令和6年度予算はわずか250戸分で、目標の1割にもなりません。予算規模も抜本的に拡大すべきです。答弁は「今回補助額の上限を引き上げたが、この効果を踏まえて更なる対策を検討していく」というものでした。
防災に関しては、県内の上水道管の耐震化も取り上げました。現在の水道管の耐震適合率は令和3年度末で36．5％です。市町村の水道管の耐震化を支援する国の補助金はありますが、県としての補助はありません。県独自に補助を上乗せするように求めたのに対し、国に対して補助率の引き上げを要望していくという内容でした。

県の産業支援策について
軍需産業への参入支援はやめるべき

県は令和6年度予算に航空宇宙防衛関連産業への参入支援事業費を盛り込み、県内企業に防衛・軍需分野への参入を促そうとしています。しかし、「住民福祉の増進を図る」という地方自治体本来の役割に照らせば、こうした分野への参入はおこなうべきではないと考えます。
この指摘に対して「この分野は市場拡大が見込まれることから支援をする」との答弁があり、改めて「軍事で平和は築けない。憲法9条に照らしても、やめるべきだ」と求めました。

学校給食費無償化について
市町村への支援について引き続き検討

学校給食費の無償化について、東京都、和歌山県、青森県などで（区）市町村を財政的に支援する動きが広がっています。山梨県でも来年度から実施すべきと求めました。しかし、「県として市町村への支援の必要性について、総合的に検討を行なっている」とこれまでと同じ答弁が繰り返されました。引き続き無償化への取り組みを求めていきます。
物価高騰の影響で給食の食材費が値上がりし、保護者の負担をはじめ、給食費を無償化しているところでは自治体の負担も増していきます。無償化と合わせて県として緊急の支援策を行なうように求めました。

富士山登山鉄道構想について
登山鉄道は課題山積み。電気バスの活用へ転換を

日本共産党はこの間、宇都宮ライトレール（県が登山鉄道に導入しようとしているものと同じLRT車両）の視察や富士吉田市との意見交換を行ない、「急こう配、急カーブの連続による脱線の危険性」「獣の侵入や衝突を回避するための柵の設置」「車両に給電する電圧を維持するための変電所の設置」「こうした構造物による自然環境への影響」「これらの設置費を含め急騰する資材費や労務費で総事業費が膨れ上がる可能性」など、様々な課題が発生することが確認できました。登山鉄道構想の方針を転換し、電気バスを活用することを求めました。
答弁では登山鉄道について調査・検討する必要があるというだけで、具体的な検討内容を示しませんでした。

毎回、パネルを活用して質問しています（2月28日県議会本会議場）

※一般質問では、他に介護保険制度、リニア中央新幹線整備に伴う問題を取り上げました。

農政産業観光委員会の報告

県の新規就農者数 6年度は350人を目標

3月5日、農政産業観光委員会で来年度当初予算の審査を行ないました。その中で令和6年度の新規就農者の目標を確認すると「350人」と示されました。
5年度はまだまとまっていませんが、4年度は331人で自営就農者の割合が増えたことは確認していましたので、その割合を更に増やす考えか確認しました。
県としてもU･Iターンによる親元就農者を増やし、自営農家の割合を高めたいとのこと。そのために事業内容を見直したのかの質問に、新規就農者が機械や施設整備を行なう際の助成金制度を果樹以外の農家にも拡大したことなどが説明されました。

新規就農者の支援 ～現場の声をもとに改革を

1月には委員会として中北地域の新規就農者の若者の皆さんからお話をうかがう機会がありました。様々な県の制度も農家の現場の実態にかみ合ったものになるように、常に改革していくことが必要と感じました。そのためにも現場の声を聴き、届けていくことを大事にしたいと思います。

決算特別委員会の報告

富裕層よびこみに1億7千万円の委託費!?

昨年11月の決算特別委員会でのこと。県の富裕層をターゲットとしたプロモーション事業について質問しました。これは海外の富裕層を県内観光客として呼び込むために、アメリカ西海岸などで山梨の魅力を情報発信するという内容で、令和4年度に1億7,000万円の業務委託費を使っています。
知事も昨年6月議会で、「県外から富裕層を呼び込むことにより、地域でより大きな消費を喚起し、地域経済全体のパイを大きくし」「地元事業者の収益向上や、働く人たちの賃上げにつなげる」と答弁していました。

実際は人数も効果も検証できず

では実際に「富裕層の県内への観光客数は何人だったのか」「富裕層の呼び込みで収益向上につながった事業者はいくつあったのか、また賃上げにつながった労働者は何人いたのか」と質問しました。しかし、答弁は「何人だったかという解析は持ち合わせていない」「それらを調べる算段等は持っていない」というもの。富裕層が何人訪れたかも、収益向上や賃上げの効果も検証できないのに、億単位の予算を支出したことは認められないと意見しました。

【主な活動 11月～2月】

11月
3日・沢登切子表彰式来賓
5日・豊地区体育祭来賓
8日・山梨県中小企業家同友会懇談
10日・農政産業観光委員会県内視察
14日・会派視察（かえで支援学校）
15日・決算特別委員会
16日・決算特別委員会
17日・県議会12月定例会議案説明会
・巨摩高校弓道場視察
21日・米軍機の空中給油訓練の中止について県へ要請
22日・「給食費無料にしよ～よの会」の県要請に同行→

25日・南アルプス市商工会行事来賓

12月
1日・県議会12月定例会開会
5日・甲西バイパス雑草除去について国交省甲府出張所へ要請＊
6～9日・県議会（代表、一般質問）
18日・県議会閉会 ・議員研修会
20日・会派として知事へ予算要望＊
25日・農政産業観光委員会県内視察
・豊地区学童新設検討会議
31日・おもてなし山梨県民大会

1月
5日・県議会新年互例会
7日・南アルプス市消防団出初式来賓
10日・看護奨学金拡充の県要請同行
12日・会派視察（宇都宮市ライトレール）＊
18日・会派調査（富士吉田市）
19日・安保法制廃止「19日集会」あいさつ
20日・重度心身障害者医療費無料化を求める県要請に同行
22日・知事の政治資金問題について要請書提出→

2月
1日・県議会臨時会
5日・国民健康保険について県へ要請＊
8日・当初予算説明会
10日・南アルプス市十日市祭典来賓
11日・県政報告会＊
15日・県議会2月定例会開会
17日・豊地区分館祭り来賓
19日・いのちのセーフティフォーラム来賓
22日・県議会（代表質問）
23日・南アルプス市戦没者慰霊祭来賓
26～27日 ・県議会（一般質問）
28日・県議会（一般質問：名取泰）
29日・農政産業観光委員会

＊印は見開き面で写真を掲載

上記でも紹介しました決算特別委員会の様子を動画でご覧いただけます。右のQRコードをスマホで読み取っていただくか、インターネットで「山梨県議会」を検索し、「県議会インターネット中継」→「議員名で選ぶ」→「名取泰」と進んでください。

その他の活動報告など、すべての情報は「名取やすし」公式ホームページでご覧いただけます。

Google 名取やすし

1182万円をずっと金庫に保管!?　知事は県民の疑念に対してすべてを明らかにせよ

2月28日に行なわれた山梨県議会2月定例会での一般質問の内、知事の政治資金問題についての部分の要旨を紹介します。

知事の政治資金をめぐる問題について

「いつ、どこで、誰が、誰から、どんな名目で」受け取ったのか

〈名取泰県議〉1月20日、知事は自らが代表を務める政治資金管理団体「日本金融経済研究フォーラム21」の政治資金収支報告書で、令和元年に「自民党二階派＝志帥会」から現金で受け取った1182万円について不記載になっていたことを明らかにした。そして、この現金は「預かり金」との認識で、金庫に保管していたと説明した。これに対し県民からは「1千万円もの現金をずっと金庫に保管とは信じられない」など疑念の声が寄せられている。

知事の関係する政治資金の流れをパネル（下図）にした。まず図の①の派閥からのキックバックについて、志帥会から令和元年に受け取った1182万円の現金は「いつ」「どこで」「誰が」「誰から」「どういう名目で」受け取ったものか説明を求める。

〈長崎幸太郎知事〉志帥会の1182万円に関しては、志帥会のパーティー券の売上げの全額を志帥会に納入し、志帥会でその全額を収支報告書に記載していると承知をしている。その内ノルマ超過分の一部を取り扱いの方針が未確定なものとして2019年8月に志帥会から受け取った。説明責任に関しては、いち早くこの旨を記者の皆さんを通じ、県民の皆様に説明をしており、可能な限りの説明はしていると認識をしている。

〈名取〉「どこで」「誰が」「誰から」「どういう名目で」、この部分がまだ答えがなかったが。

〈知事〉今、指摘の点については、個別の公訴案件に関わることであり、回答は差し控えなければならないと考える。

裏金づくりに協力した認識は

〈名取〉知事は一昨日の県議会答弁で1182万円について、志帥会から預り金として保管するように指示があったと答弁したが、これはいつのことか。その際、志帥会からは収支報告書に記載しないように依頼されたか。

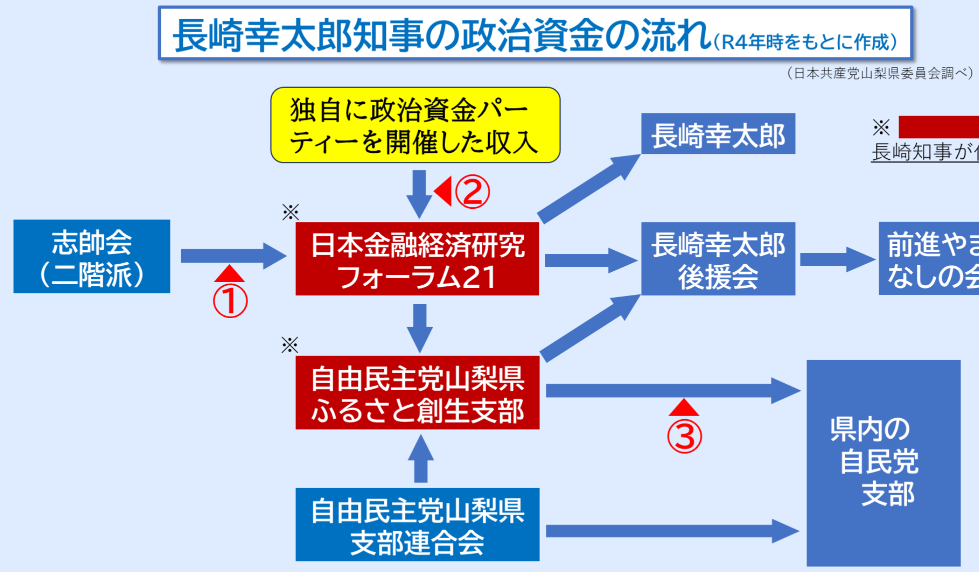
〈知事〉それは2019年8月に志帥会から受け取った時点で指示があったと承知をしている。それ以上の詳細ては、個別の公訴案件に関わることであり、回答は差し控える。

〈名取〉志帥会から現金で保管するように指示され、それに従ったということは、実在する政治資金をオモテに出さず隠した。つまり志帥会の裏金づくりに協力したということになるが、そうした認識はあるか。

〈知事〉指摘の件については、すべて志帥会で収入として　掲示されているものであり裏金になるものではないと考えている。

〈名取〉確認するが、この他に収支報告書に記載していないお金はないか。

県議会本会議場で質問する名取泰（2月28日）



〈知事〉これまでのところ、そのようなものはないものと承知をしている。

自身もパーティー券で5千万円の売り上げ

〈名取〉次に図の②の部分。知事が代表を務める政治資金管理団体は、政治資金パーティーを開催し、ここ数年は毎年4千万～5千万円のパーティー券を売り上げているが、企業・団体や県内の市町村長に購入してもらったケースはあったか。こうした政治資金パーティーは自粛すべきではないか。

〈知事〉私の政治資金パーティーに関しては政治資金規制法の規定により、定められた額を超えるものについては収支報告書で氏名などを公開しており、企業・団体なども含まれている。なお政治資金パーティーについては、自民党内でも更に適正化が検討されており、様々な点を考えた上で実施を判断する必要があると考えている。

県の仕事を請け負う業者もパーティー券を購入

〈名取〉令和4年9月と10月に「長崎幸太郎知事と語る会」の名称でパーティーを開催しているが、同じ年の9月に山梨県建設業協会の常任理事会の議題に、「『長崎幸太郎知事と語る会』チケット配布購入依頼について」との記載がある。県の公共事業を請け負う建設業者の団体に対して、パーティー券の購入を依頼することは、適切でないと考えるが、答弁を求める。

〈知事〉　パーティー券の販売、購入の依頼、その他については、法律に基づき適正に処理がされている。

〈名取〉令和4年に開催した知事の政治資金パーティーは利益率95％で、パーティー券を買った側はほとんど対価がない。これが事実上の企業団体献金と言われるゆえんだ。しかも、県と利害関係のある企業や団体に買ってもらっていれば、行政の公平性に疑念が生まれるではないか。

〈知事〉行政は常に公平公正に行っており、政治資金のパーティーに関しては、法律に基づき適正に処理している。

市町村長が公費でパーティー券を購入している例も

〈名取〉これほど、政治資金パーティーの問題が大きくなっている時に、知事の認識は甘いと思う。県内のいくつかの市の市長交際費を見ると、「長崎幸太郎知事と語る会」として1回1万円ずつの支出がある。知事は県内の市町村長にもパーティー券の購入を依頼しているのか。交際費という公費で購入してもらっていることは問題ではないか。

〈知事〉パーティー券の購入者は、政治資金規正法の規定に定められた額を超えるものについて収支報告書に氏名などを公開している。

〈名取〉お答えいただいていない。市町村長にも購入を依頼してるのか。

〈知事〉私自身は直接依頼はしていないが、どなたか関係する方がお話を持っていってる可能性はあろうかとも思う。

〈名取〉もう一点、交際費という公費で購入してもらっているのは問題ではないか。

〈知事〉政治資金パーティーのパーティー券の購入、あるいは販売については、政治資金規制法にのっとり、適正な方法でやってる以上何ら問題はない。

政治資金パーティーは自粛せよ

〈名取〉指摘したようにパーティー券購入は、事実上の企業団体献金になっている可能性や公金が使用されているなど、様々な問題を含んでいる。県行政の長として強力な権限を持つ知事は、やはり政治資金パーティーを自粛すべきではないか。

〈知事〉事実上の云々というのは議員の感想であり、政治資金パーティーは、法に基づき適正処理してる以上は問題はない。ただ、いずれにしても様々な点を考慮し実施を判断する必要はあると考えている。

自民党支部に独自に交付金支出

〈名取〉次に図の③の部分。令和4年12月にだけ、知事が代表を務める「自由民主党山梨県ふるさと創生支部」から、県内の55の自民党支部に交付金として総額1170万円が交付されている。この年だけ、どういう目的で交付したのか。

〈知事〉県内の自民党支部の交付金については、地域における党勢拡大のために支出したものである。

〈名取〉同じ年、自民党山梨県連からも県内の支部に交付金が支出されている。それとは別に、知事が代表を務める支部からも交付金を出している例は他県では見当たらない。この仕組みをつくった目的は何か。

〈知事〉同年の交付金については、県内の自民党支部が所管する地域における党勢拡大のために支出したもので、県連の支出に関して、私どもが答える立場にはない。

〈名取〉この55支部以外に交付金を交付していない支部もあるが、それはなぜか。

〈知事〉ここについては事実の確認が必要だが、今資料その他情報を持っていない。

〈名取〉今日の質疑で疑念が解消されたとは言えない。今後も県議会やマスコミ、そしてなにより県民に対して丁寧な説明をしっかりとおこなっていくことを求める。

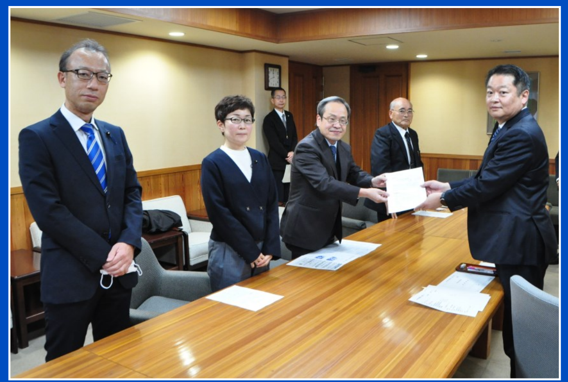
動画でご覧いただけます

紹介した質問の様子を動画で見ることができます。スマホで左のQRコードを読み取っていただくか、インターネットで「山梨県議会」を検索し、「県議会インターネット中継」→「議員名で選ぶ」→「名取泰」と進んでください。

活動報告

現地調査を行ない、甲西バイパスの雑草除去を国交省甲府出張所へ要請（2023年12月）

富士山登山鉄道に導入が計画されるLRTについて宇都宮市を視察（1月）



長崎幸太郎知事に来年度予算要望を提出（2023年12月）

日本共産党地方議員団で国民健康保険制度の改善を求め県へ要請書を提出（2月）

各地に出向き、県政報告会を開催（＊ご連絡いただければ報告会にうかがいます）